



佐々木良一郎議員

## 地域活性化

# 団塊世代の受け入れに遊休農地活用

## 新規農林就業研修の受け入れを検討

**質問** 町内には農地が、約五九五畝あるが、実際耕作されている農地は三二八畝だ。遊休農地二六七畝を二〇〇七年からはじまる団塊の世代の人達を受け入れる方法として、小面積農地付き宅地を売買できるようなしてはどうか。本町の人口増加にもつながると考えるが、どうか。

**沼崎町長** 町の交流居住促進委員会において、新規農林就業研修の受け入れ先農家を支援する事業を検討しているところである。

また、農地付き宅地については、農用地以外の遊休農地を活用して行う場合は可能と思うが、新規就農者の農地取得は営農計画を持ち耕作意欲があると認めら

れることが要件である。

**質問** 町内の農家では、子供を高校、大学に進学さ

せたくても所得が少なく進学させることができない家庭もある。学費に充てるため小面積の農地でも売買できるようにすべき。これには「特区」を使用すれば可能ではないか。

**沼崎町長** 「別段面積」として知事が公示することで五〇町から一〇町以上に緩和することが可能である。

## テレビ放送 デジタル放送移行に対する町の方策 広報やチラシで町民に周知

**質問** 近年中に現在のアナログ放送が終わり、デジタル放送になる。そうなる

と、今使用しているテレビは現在のままでは使用できなくなる。町では何らかの方策を考えているか。

**沼崎町長** 二〇一一年七月二十四日までは現在のアナログ放送は終了し、地上デジタル放送となる。

県内の地上デジタル放送は、NHKが二〇〇五年十二月から、民法テレビ局は二〇〇六年十月から県内の

一部で放送が始まっている。

本町の中継局整備は、民放が二〇〇九年までに、NHKが二〇一〇年の計画になつており、視聴するため機器が必要となる。町では、デジタル放送の移行に伴い、町民に対し広報やチラシで周知を図っている。

**質問** デジタル放送を視聴するため、町民に機器購入に対する補助を行う考えはないか。

**横田総務課長** 補助は考えていない。



遊休農地をなくすための取り組みとして「南部そば」の試験作付けが行われました（お手伝いをす豊間根小学校の児童と豊間根保育園の園児）

## 町の考えを聞く